

令和3年度 学校評価（あきた型）シート
「秋田西高等学校」

①

評価領域	進路指導部
------	-------

目標の設定（Plan）

②	重点目標	生徒一人ひとりの進路希望の実現
③	現 状	生徒一人ひとりの進路意識は高いとは言えないが、各学年部とも生徒の多様な進路実現に向けて熱心な取り組みが見られる。
④	具体的な目標	基礎学力の定着、ならびに大学入学共通テストに対応できる学力の育成
⑤	目標達成のための方策	授業、朝学習、補習を通しての学習習慣の定着と学力向上。 進路行事を通して、保護者ならびに生徒の進路意識の啓発。

実践（Do）

⑥	具体的な取組状況	授業の充実に向けた取組、朝学習・補習の実施、進路講演会の実施
⑦	達成状況	生徒の意識の向上や学習習慣の取組の改善が見られる。

自己評価（Check）

評価基準	A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

⑧	自己評価	評価	根 拠
		B	生徒一人ひとりの進路実現は概ねできているが、学力の育成は模試の結果等からまだ道半ばであると考えている。

⑨	学校関係者評価と意見	評価	意 見
		B	生徒の学力育成・向上は大変と思うが、継続的に指導をお願いしたい。生徒のやる気を引き出すためにも卒業生からの講話の機会を設けてほしい。進路実現に向けてのさらなる情報提供や講演会の開催を望む。

改善した実践（Action）

⑩	自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	生徒のやる気を引き出し、進路意識を向上させるため、卒業生との懇談会を新年度は是非実現させたい（コロナ禍で過去2年は開催せず）。また、外部講師による進路講演会等の進路行事の開催も検討したい。
---	-----------------------	--